

かしわ もい 柏葉の杜



学校だより NO. 36
令和2年 3月10日
八頭町立八東小学校
電話71-0108 FAX71-0107

○3月2日(月)本年度最後の全校集会でみんなで歌いました。

学校便り・No.35号でもお知らせしたように、本年度、最後の全校集会を実施しました。もちろん、卒業式も実施していないので、「修了式」とは言えませんので、「3月全校集会」の名称で実施しました。

会が終了した後で、全校で卒業式の歌を歌いました。卒業生は6年藤原愛さんのピアノ伴奏で「旅立ちの日に」、そして、全校で「きょうなら」を歌いました。28日(金)の臨時休業の決定から、土・日と一人で考え、「そうだ。3月2日の全校集会で、卒業式の歌を歌おう。」と決め、3月2日の3月全校集会の後で、みんなで卒業式の歌を歌いました。

当日は、全校集会が終了後、子供たちに今年の卒業式は、現時点では、卒業生と保護者のみなさんしか参加できないと伝え、今日はこれからみんなで卒業式の歌を歌うことを、全校児童に伝え始めました。

(・もちろん、卒業生には事前に伝えていました。)



【 卒業式当日は、6年生が中学校の制服を着て、この位置で別れのことばを伝え、歌を歌います。 】

始めに、6年生の「旅立ちの日に」の歌が始まりました。いつ聞いてもいい歌詞です。卒業する児童や生徒の心情を伝えるすばらしい歌詞とメロディーです。全国の小中学校でいつもなら、全校生徒が集い聞く予定の曲でした。聞きながら校長として、寂しい卒業式にならざるを得ないこと、6年生に申し訳ない気持ちが心に溢れました。卒業生はまだまだこれから練習本番という所でしたが、一人一人が心を込めて歌を歌っている姿が見えました。また、藤原愛さんのピアノも素敵でした。

6年生の歌に圧倒されたのか、みんなで歌う「きょうなら」は在校生が少し、声が出ていなかったようにも感じました。しかし、こうしてみんなで歌を歌い、聞き合うことができたのは、有り難いことかもしれません。他県では、こうしたこともできないままに、臨時休業に入った学校も多かったと聞きます。

卒業生の思い、在校生の思い、みんなの思いは、きっと伝わったと思います。貴重な時間を持つことができたことに感謝したいと思います。

(・尚、卒業生は歌の時は、マスクを外して歌いました。在校生と教職員はマスク着用で歌いました。)

ところで、「旅立ちの日」には、こんな素敵な歌詞があります。

「勇気を翼にこめて 希望の風にのり このひろい大空に 夢をたくして」
「いま、別れのとき 飛び立とう 未来信じて 弾む若い力信じて
このひろい このひろい大空に」

このような素敵な歌詞があります。校長個人として好きな部分です。

勇気を持ち希望を胸に、6年生25名が八東小学校を巣立っていきます。これから先、長い人生、様々な困難があると思いますが、きっとその困難に立ち向かって、飛び続けてくれるものと期待しています。がんばれ卒業生。

次号では、卒業式の様子をみなさんに紹介します。

多分、最終号になります。 【八東にも菜の花が咲き誇っています。】

